

令和7年度 鶴岡市生活応援商品券事業 参加店向けアンケート結果について

**鶴岡市生活応援事業実行委員会
令和8年10月15日**

実施概要

本事業の効果を評価・分析するため、参加店 9 9 9 店舗を対象としたアンケート調査を実施しました。

(1) アンケートの実施方法

- ・ 調査実施期間 令和 8 年 6 月 2 9 日～令和 8 年 7 月 1 7 日
- ・ 調査対象 参加事業者 9 4 9 者（9 9 9 店舗）
- ・ 回答状況 4 7 5 事業者より回答（回答率 5 0 . 1 %）
- ・ 調査方法 郵送にてアンケートを送付
- ・ 回答方法 アンケートに付された二次元コードからのオンライン回答、または郵送、F A X により回答

(2) アンケート結果概要

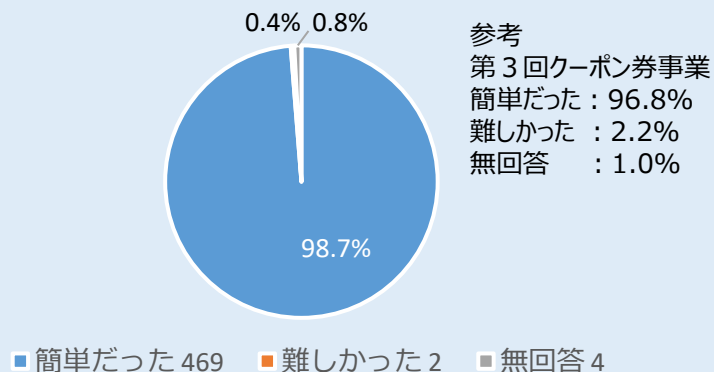
- ・ 半数超の事業者が、実際に売り上げ増化に繋がっていると回答。
- ・ 約 3 割の事業者が新規来店者数が増えたと回答。
- ・ 約 6 割の事業者が「商品券事業による売上拡大の効果があつた」と感じている。
- ・ 6 割を超える事業者が「紙版」のみの継続を望むと回答。
- ・ 約半数の事業者が「全市民への商品券配布」が良いと回答。

回答結果 1

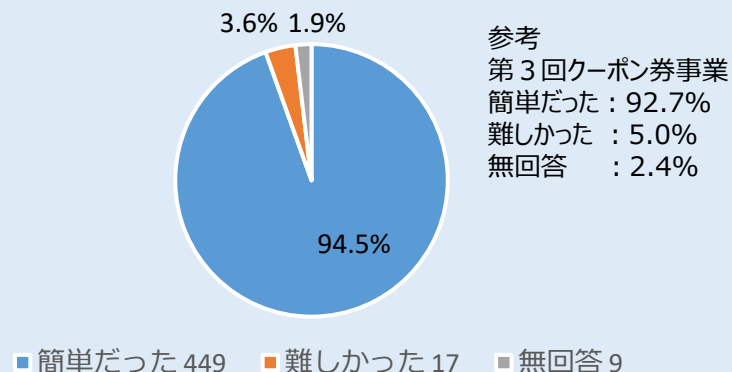
問1 本商品券事業に関するそれぞれの対応について、感想をお聞かせください。

A) 実施方法については、概ね「簡単だった」との回答でした。

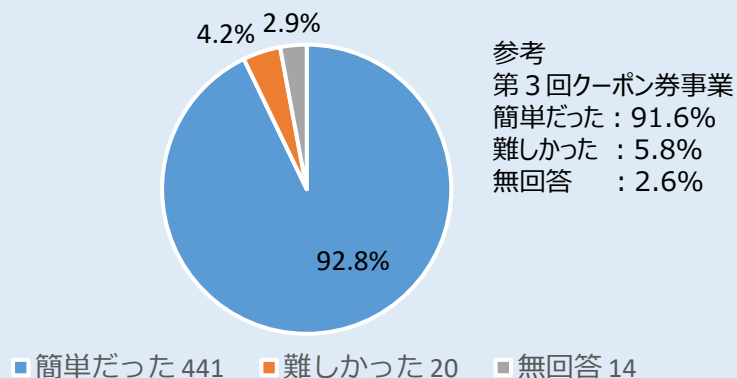
問1-1 参加手続きや利用準備について



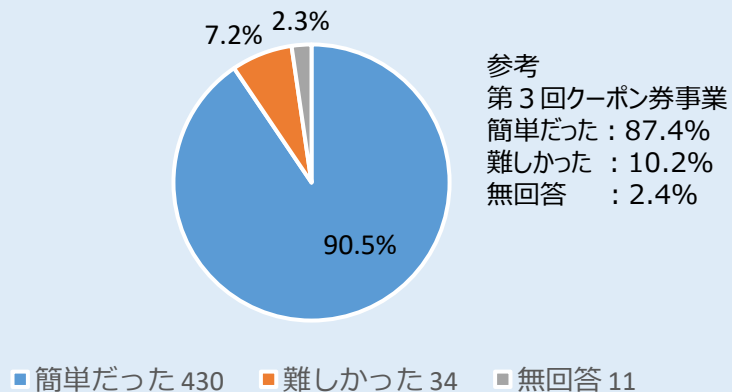
問1-2 レジ業務・精算手続きについて



問1-3 換金手続きについて



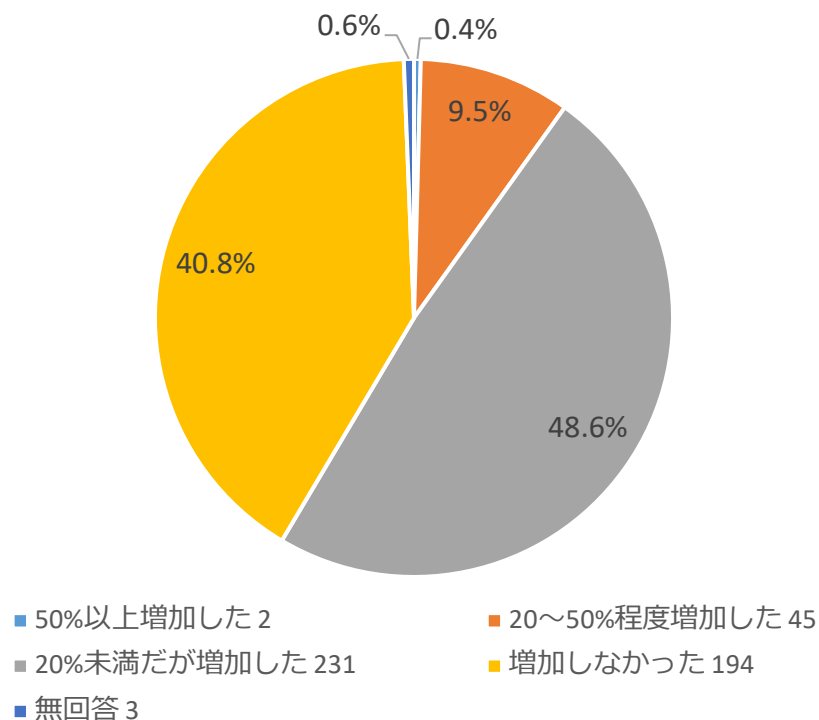
問1-4 売上管理について



回答結果 2

問2 本商品券事業によりどのくらい売り上げが増加しましたか。

A) 半数超が「増加した」と回答しています。



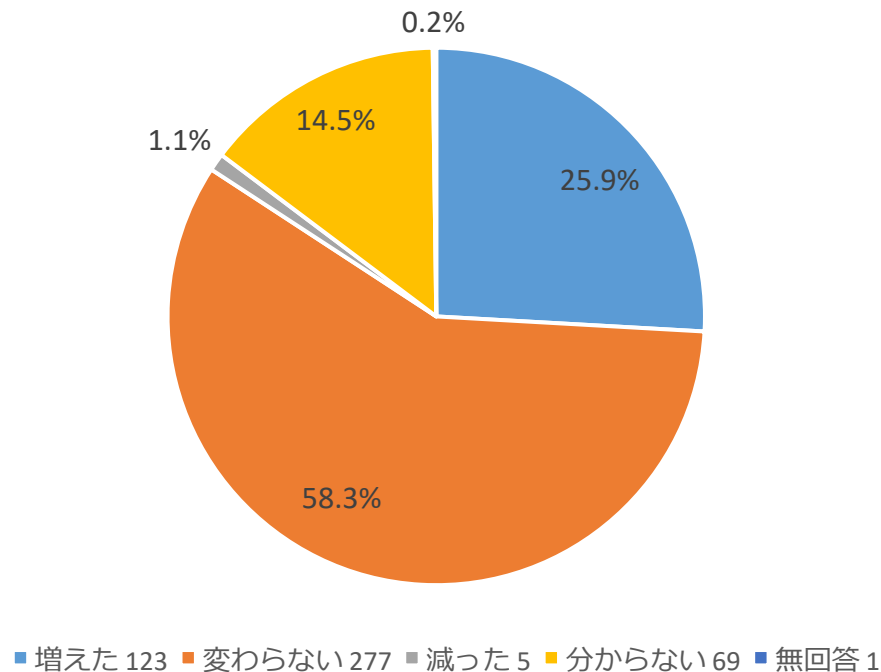
参考 第3回クーポン券事業

50%以上増加 0.3% 20～50%程度増加 8.4% 20%未満だが増加 41.7% 増加しなかった 48.8% 無回答0.8%

回答結果 3

問3 新規のお客様の来店(決済数)は、本商品券事業を始める前と比べ変化しましたか。

A) 約3割が「増えた」と回答しています。

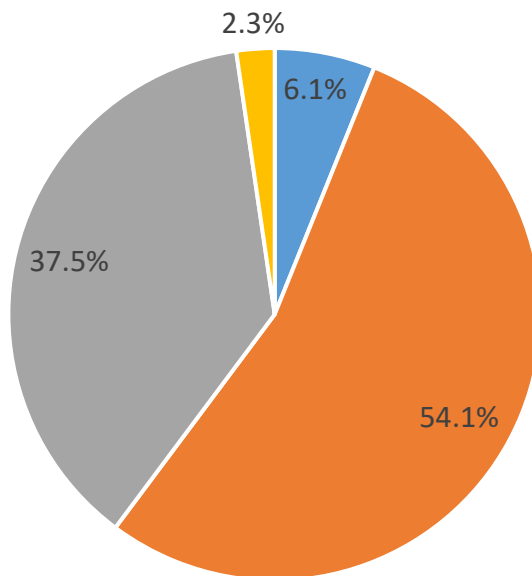


参考 第3回クーポン券事業 増えた27.0% 変わらない55.1% 減った1.1% 分からない15.5% 無回答0.5%

回答結果 4

問4 本商品券事業は売上拡大の効果があったと思いますか。

A) 「大いに効果があった」「効果があった」が、約6割を占めています。



■ 大いに効果があった 29 ■ 効果があった 257 ■ 効果はなかった 178 ■ 無回答 11

参考 第3回クーポン券事業

(消費喚起について) 大いに効果があった8.9% 効果があった56.4% 効果はなかった32.3% 無回答2.4%

回答結果 5

(問5) 本商品券事業の良かった点や改善点がありましたら教えてください。(自由記載)

A) 事業に対しての感想を集約した結果、以下の通りとなりました。

良かった点		改善点	
使用制限がなく金券として使えて良かった。	24	換金を早くしてほしい。	13
業種別が無く全店で使えて良かった。	20	電子版にしてほしい。	12
商品券事業はありがたかった。	6	商品券裏の日付と押印が大変である。	12
事務手続きが簡単だった。	4	1人当たりの金額が少ない。	10
消費喚起につながった。	4	効果が感じられない。	10
良かった。続けてほしい。	3	商品券使用の業態への偏りを感じた。	6
新規のお客様が増えた。	3	飲食店も多く利用するように考えてほしい。	5
会計がスムーズで良かった。	3	前回同様利用制限をもうけて売り上げ伸ばしてほしい。	5
500円券は使いやすかった。	3	商品券を数えるのが大変である。	3
物価高対策として効果があった。	3	参加店のメリットを考えてほしい。	3
お年寄りも簡単に使えて良かった。	2	利用期間を大きく書いてほしい。	3
その他	9	その地	29

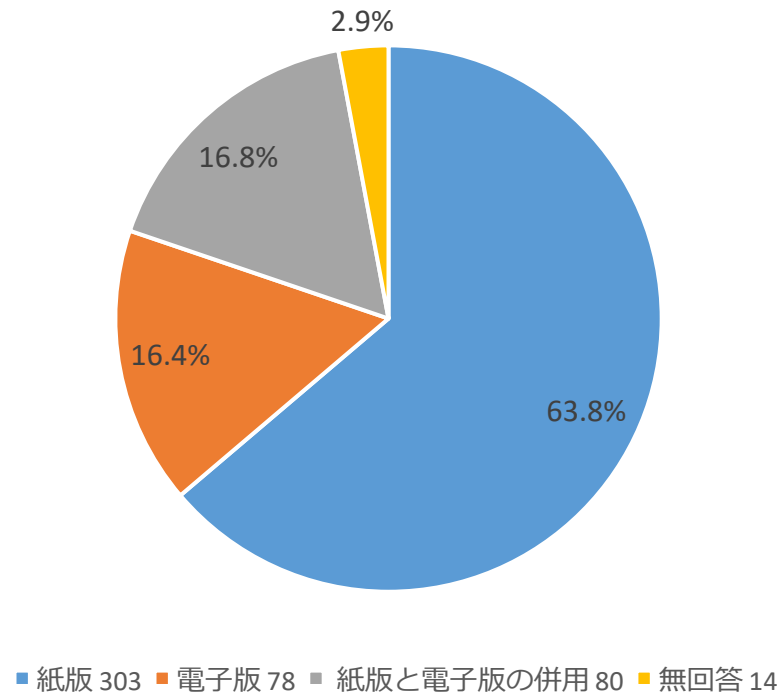
84

111

回答結果 6

**問6 今回の商品券事業は、紙版のみで実施しました。
今後、同様の取組を行う場合、どのような方式がよいですか。**

A) 今回と同様に、「紙版」での実施を希望される店舗が
6割以上を占めました。

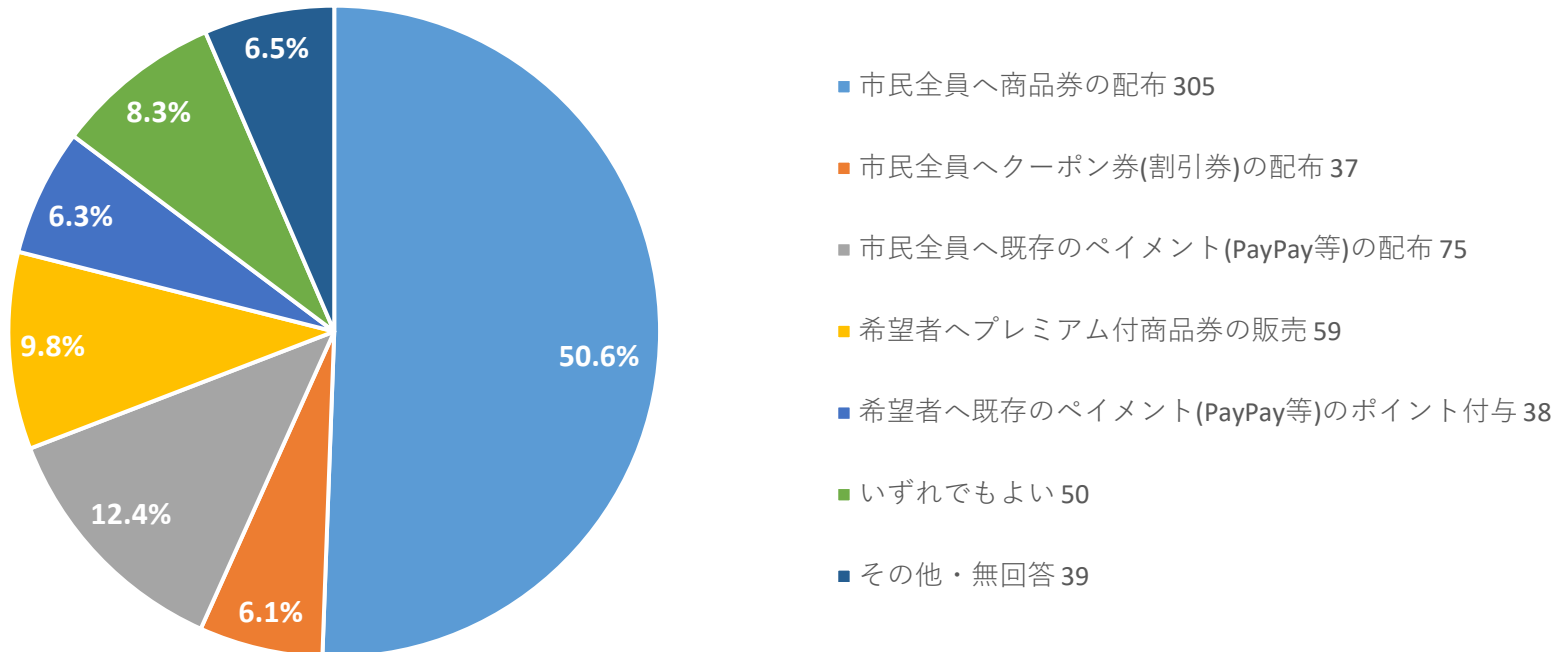


参考 第3回クーポン券 紙版60.9% 電子版14.4% 紙版と電子版の併用22.0% 無回答2.6%

回答結果 7

問 7 今回は商品券（金券と同義）の方式で、市民全員へ配布する方式としました。
今後、同様の取組を行う場合、どのような方式がよいと思われますか。（複数回答可）

A) 今回と同様に、「市民全員へ商品券の配布」を希望される店舗が、約半数を占めました。



参考 第3回クーポン券（①と②は別項目で聞き取りしたもの）

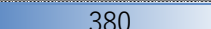
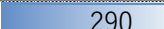
①クーポン券47.5% プレミアム付き商品券23.9% 既存のペイメント等の活用20.2% その他8.4%

②市民全員への配布70.3% 希望者へ配布13.1% どちらでもよい15.0% 無回答1.6%

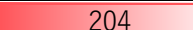
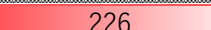
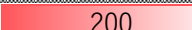
回答結果 8

問8 原油・原材料価格の高騰による影響について教えてください。

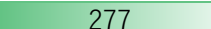
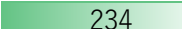
問8-1 生じているマイナスの影響について（複数回答あり）

	商品券事業		【参考】第3回クーポン券	
収益の圧迫	 235	29.2%	 218	36.2%
関連商品(製品、部品、原料など)の値上がり	 380	47.1%	 290	48.1%
商品の欠品	 114	14.1%	 40	6.6%
雇用の維持が困難	 47	5.8%	 42	7.0%
その他・無回答	 30	3.7%	 13	2.2%
計	806	100.0%	603	100.0%

問8-2 コスト上昇分のうち、価格転嫁の状況について

	商品券事業		【参考】第3回クーポン券	
価格転嫁できていない	 204	42.9%	 140	36.7%
コスト上昇分の一部について価格転嫁できている	 226	47.6%	 200	52.5%
コスト上昇分の全てについて価格転嫁できている	 20	4.2%	 25	6.6%
その他・無回答	 25	5.3%	 16	4.2%
計	475	100.0%	381	100.0%

問8-3 価格転嫁以外に講じている対策について（複数回答あり）

	商品券事業		【参考】第3回クーポン券	
諸経費の削減	 277	34.1%	 234	35.6%
省エネ対策	 136	16.7%	 100	15.2%
仕入・調達先の変更	 119	14.6%	 99	15.1%
商品・製品の見直し	 190	23.4%	 152	23.1%
特になし・その他・無回答	 91	11.2%	 72	11.0%
計	813	100.0%	657	100.0%